



Panasonic[®]

施工説明書

エントランスポール 機能門柱TS-1型

このたびはパナソニック製品をご採用頂き、まことにありがとうございます。

■施工説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。

特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。

■施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■この商品は日本国内専用品ですので、日本国外での設置はしないでください。

■同梱されている取扱説明書は必ず施主様へお渡しいただき、使用方法、メンテナンスなどの説明をしてください。

もくじ

●安全上のご注意	表紙	●施工前の確認	4
●施工上のご注意	2	●施工手順	5-裏表紙
●梱包明細	2	●施工後の確認	裏表紙
●製品納まり図	3		

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った施工をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。
(次は図記号の例です)

 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。		してはいけない内容です。
 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。		実行しなければならない内容です。

警告

 分解禁止	商品の仕様および用途変更・改造は絶対にしない けがの発生や事故のおそれがあります。	 必ず守る	商品の施工は、施工説明書に従い確実に行う 火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。
--	--	---	---

注意

 必ず守る	照明の、100V電源は漏電ブレーカーを介して接続し、D種(第3種)接地工事を必ず実施する 感電事故のおそれがあります。	 必ず守る	施工後、ねじ類の締め具合をもう一度点検する ねじ締め不足により、思わぬ事故が起きたり、故障の原因となります。
	主電源を切ってから施工を行う 感電のおそれがあります。		部材が重量物の場合、運搬・取付作業は2人以上で行う けがのおそれがあります。
	ポール下部の水抜き穴はふさがない 雨水の浸入により漏電、感電、故障、腐食などの原因となります。		施工時は手袋などの保護具を着用する けがのおそれがあります。

施工上のご注意

禁止	通行の妨げとなる場所には設置しないでください。 けがの原因となります。 ※特に扉・宅配ボックスの扉を開いた時に道路や通路の通行の妨げにならないようご注意ください。	必ず守る	基礎穴および埋め込み深さは基準通りに設けてください。 強度不足によりけがのおそれがあります。
	商品にはぶら下らないでください。 けが・故障の原因となります。		商品に付着したリシンやモルタル・コンクリートなどは速やかに清掃してください。 塗装がはげたり、腐食の原因となります。
	固いものを当てたり、強い衝撃を与えないでください。 表面に傷をつけると、腐食の原因となります。		アルミ製品に銅板やラスなどの異種金属が接触しないように絶縁処理をしてください。 アルミの腐食促進作用があります。
	モルタル急結剤、海砂などでは使用しないでください。 アルミの腐食促進作用があります。		ポール内への水溜まり防止のため、基礎部に栗石を敷いてください。 電気部品の故障の原因となります。
	ホースによる直接の水洗いはしないでください。 故障の原因となります。		
	施工時の汚れ落としにシンナー、塩酸などは使用しないでください。 腐食の原因となりますので中性洗剤を使用してください。		

梱包明細

項目	品番	CTP301□
機能門柱TS-1型 照明用加工あり		●前パネル (照明用加工あり・ドアホン用加工あり) ……1 ●ポール本体(左右) ……各1 ●天板 ……1 ●ドアホン／照明固定用ねじ ……4 ●取扱説明書 ……1 ●施工説明書 ……1
項目	品番	CTP301N□
機能門柱TS-1型 照明用加工なし		●前パネル (照明用加工なし・ドアホン用加工あり) ……1 ●ポール本体(左右) ……各1 ●天板 ……1 ●ドアホン／照明固定用ねじ ……4 ●取扱説明書 ……1 ●施工説明書 ……1

※□には色記号が入ります。(CS:クールシルバー、B:ブラック)

※根がらみは現場調達してください。(7ページ参照)

■ネームシール(別売)

AAAABBCDD
EEFGGHHIIJ
KKLMMNNOO
PQRRSSTTUUV
WWXYZ:::

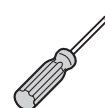
品番:CT090011K

AAAABBCDD
EEFGGHHIIJ
KKLMMNNOO
PQRRSSTTUUV
WWXYZ:::

品番:CT090012K

■施工工具

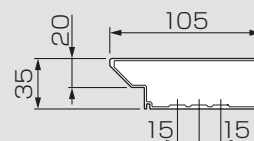
- プラスドライバー
(番号2番:長さ25cm程度の工具)



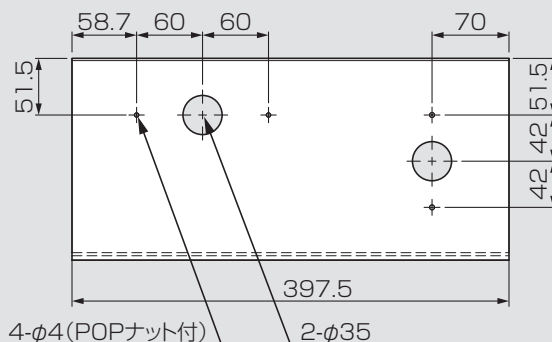
- プラスドライバー
(番号2番:長さ7cm程度の工具)



ポールの形材図

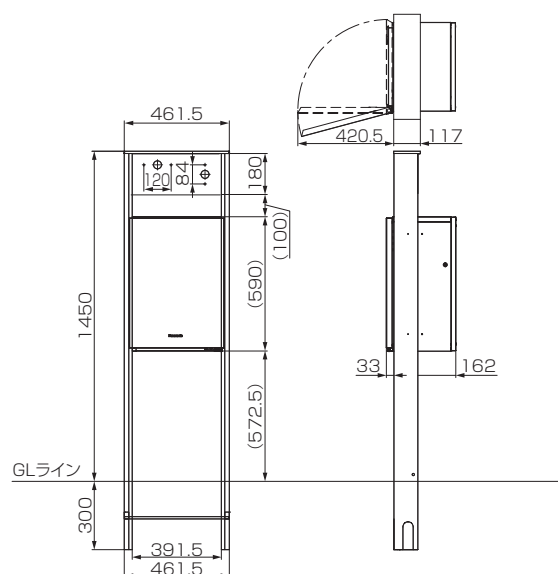
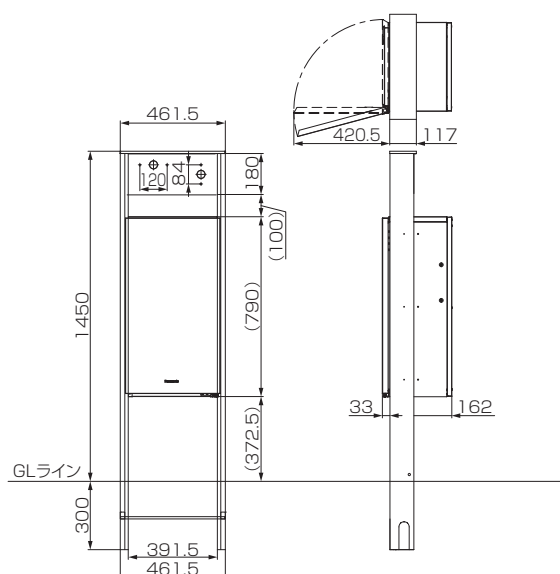


前パネルの加工寸法 (照明用加工あり・ドアホン用加工ありの場合)

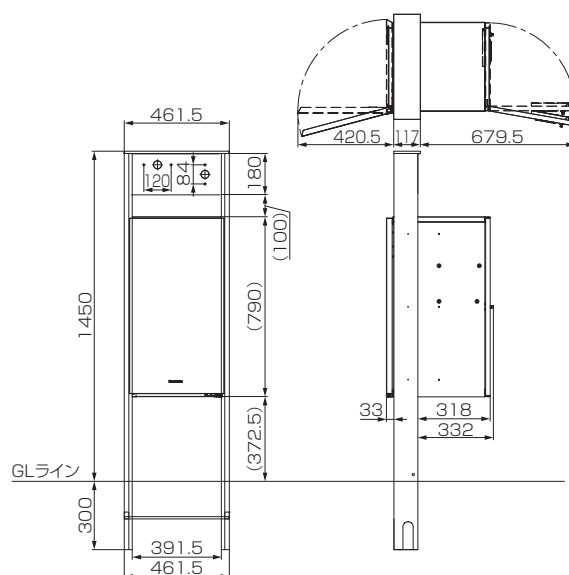
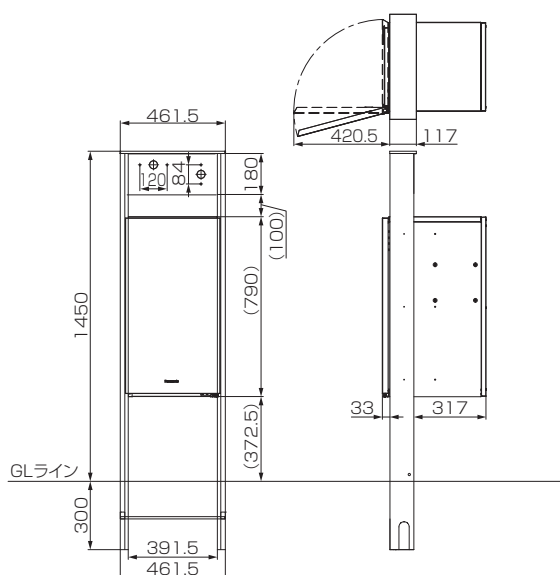


※カメラドアホン・宅配ボックス・表札は別売となります。

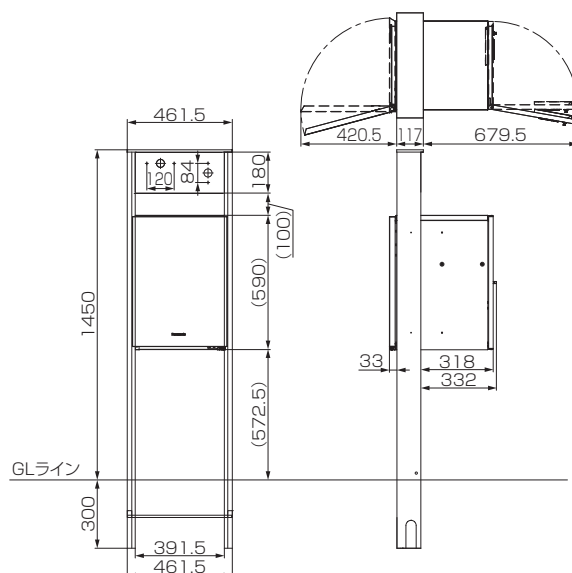
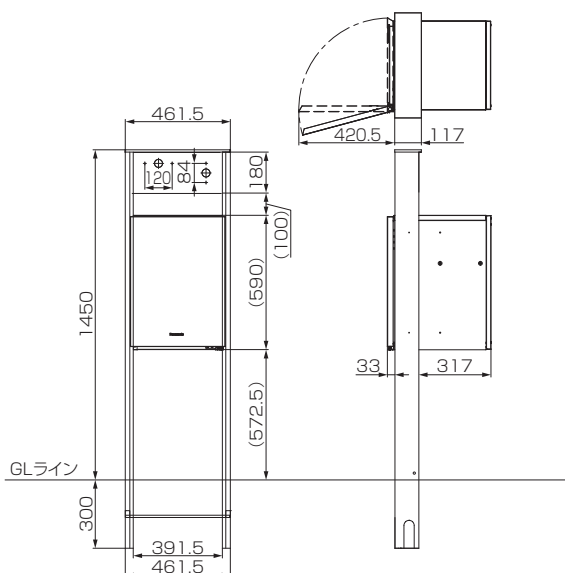
〈機能門柱+コンボマルチ ミドル ハーフ(FF) 右開き〉



〈機能門柱+コンボマルチ ラージ(FR) 右開き〉



〈機能門柱+コンボマルチ ミドル(FR) 右開き〉



施工前の確認（「照明(LEDユニット)」 「ドアホン・カメラドアホン」をつける場合）

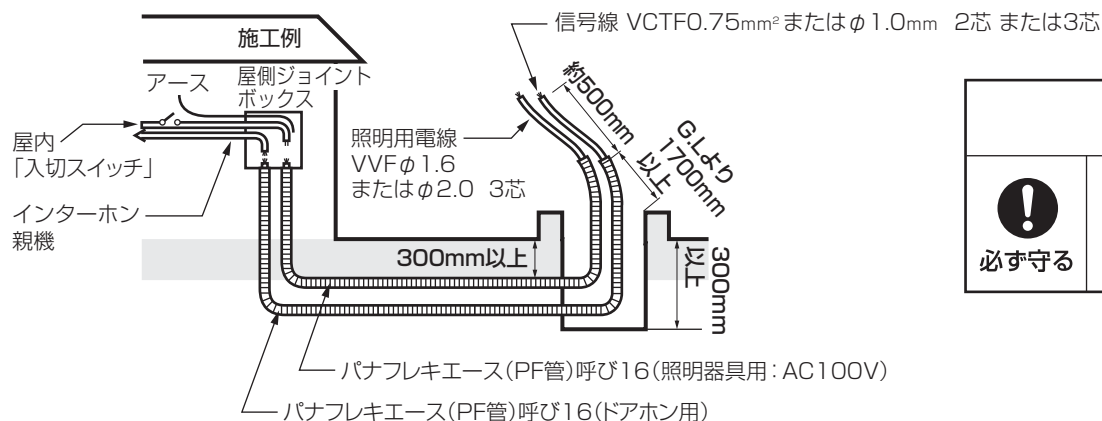
電気配線工事

はじめに

- 電気配線工事は専門の電気工事店にご依頼ください。
- 照明用電線と信号線は電線管による離隔が必要です。
- 照明用電線は、VVFφ1.6またはφ2.0の3芯単線（アース線含む）信号線（ドアホン、カメラドアホン用）は、VCTF0.75mmより線またはφ1.0単線2芯または3芯を準備してください。
- 接地工事は、電気設備の技術基準に従い、確実に行ってください。
- 室内に「入切スイッチ」を別途に設けてください。

配管工事（各部材は現場手配となります）

- ポール建て位置へあらかじめPF管を埋設してください。



注意



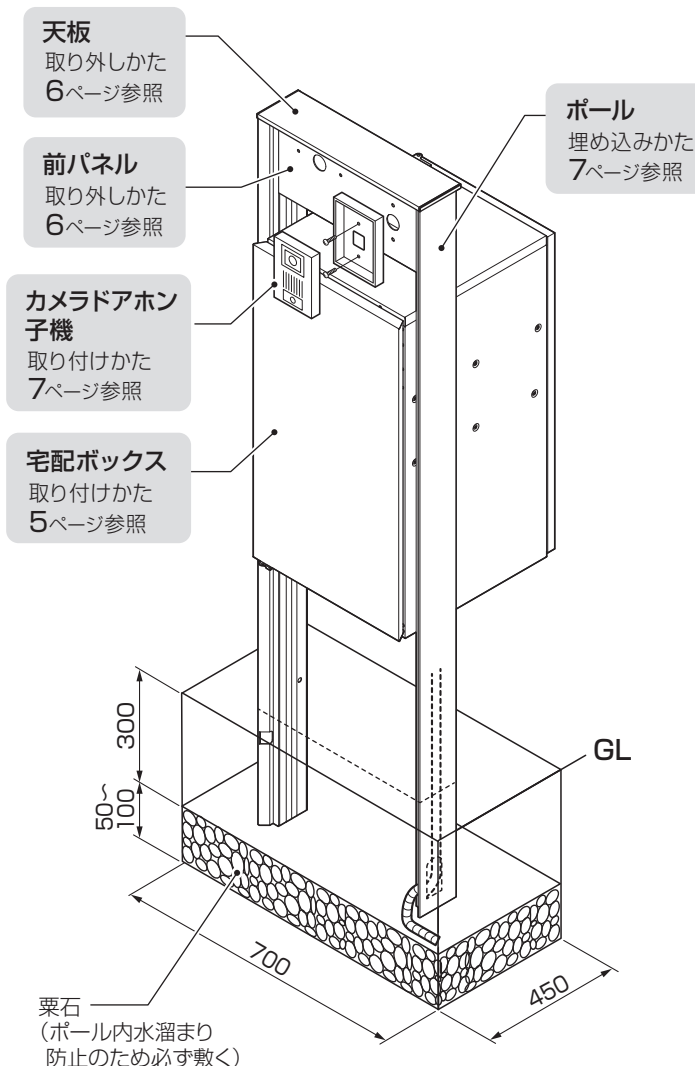
必ず守る

電線管(PF管)埋設工事については、内線規定にしたがう

施工手順

〔寸法単位：mm〕

施工のながれ



1 埋め込み穴を確保する

- 決められた寸法の基礎穴を掘り、本体内部水溜まり防止のため、50～100mmの栗石を必ず敷く。

2 宅配ボックスを取り付ける

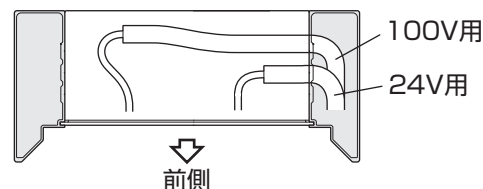
- 埋め込む前に、ポスト一体型宅配ボックスを取り付ける。
(埋め込み後では、取り付けられなかったり、段差やすき間が生じるおそれがあります。)

❗ 配管工事は電気工事店様にご依頼ください。

- ポール内部の決められた高さまで電源線(照明用)および信号線(ドアホン子機用)用PF管をあらかじめ立ち上げておく。
- PFIは配線ボックス内まで引き込む。(下図参照)

■電線管(電線)の通しかた

- 下図はポール上部から見た図です。
- 通線用の針金があらかじめ通してあります。



3 天板・前パネルを取り外す

4 ポールを埋め込む

- ポールを立て、埋め込み位置、高さ、垂直度、水平度を調整し、添え木などで固定する。

5 照明・カメラドアホン子機を取り付ける

6 天板・前パネルを戻す

7 表札を取り付ける

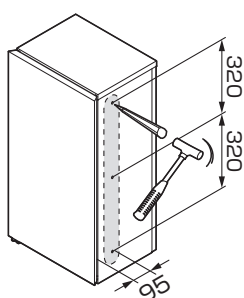
1. 埋め込み穴を確保する

決められた寸法の基礎穴を掘り、本体内部水溜まり防止のため、50～100mmの栗石を必ず敷く。

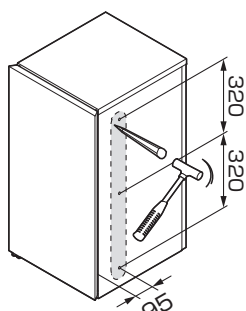
2. 宅配ボックスを取り付ける

❶ 宅配ボックスの側面にノックアウト穴を片側2か所(計4か所) 抜く。

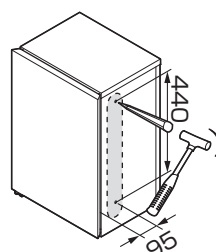
ラージ ハーフ FF



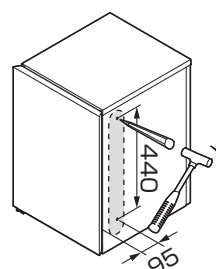
ラージ FF・FR



ミドル ハーフ FF



ミドル FF・FR



施工手順

〔寸法単位：mm〕

② ポールの前側から、後ろ向きに挿入する。

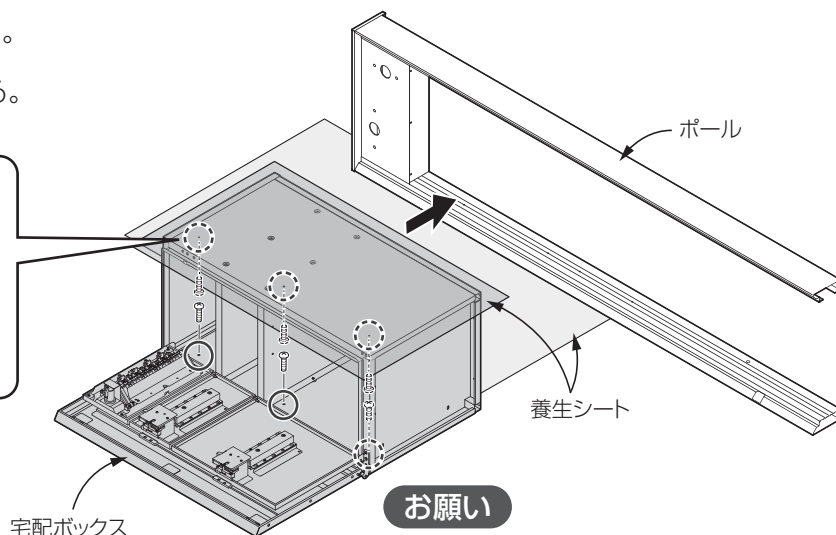
③ 宅配ボックスをポールにねじで固定する。

コンボマルチのサイズによって
ねじ止め個数が異なります。

(ラージ
ラージハーフ) 片側3か所 計6か所

(ミドル
ミドルハーフ) 片側2か所 計4か所

※イラストはラージタイプで説明しています。



お願い

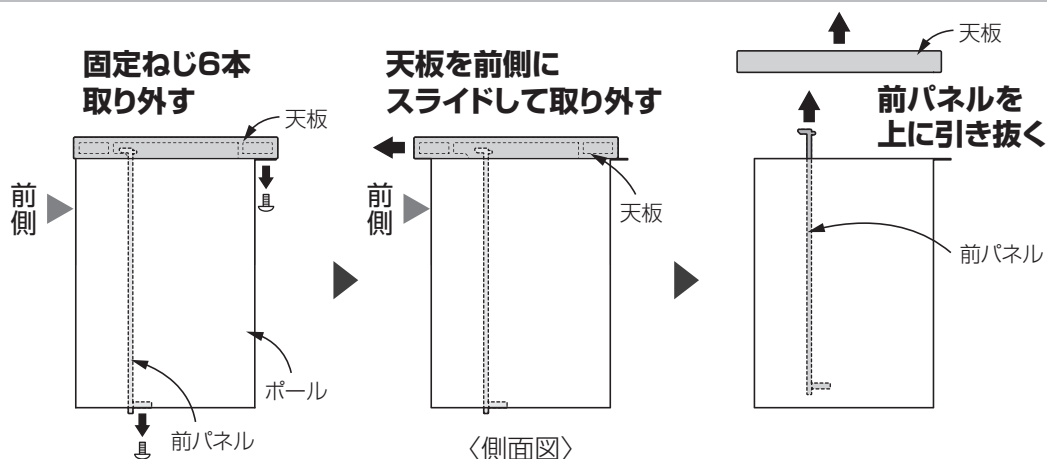
宅配ボックスは、扉の吊り側を
下に向けて取り付けてください。

3. 天板・前パネルを取り外す

① 固定ねじ6本取り外す。

② 天板を手前にスライドして
取り外す。

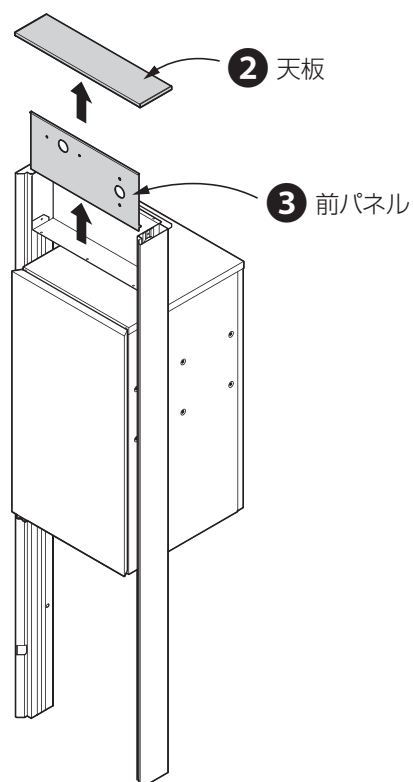
③ 前パネルを上引っ張り、
取り外す。



前パネル固定ねじは
長さ7cm程度の
プラスドライバーで
取り外してください。



注意 取り外した固定ねじを
紛失しないように
ご注意ください。



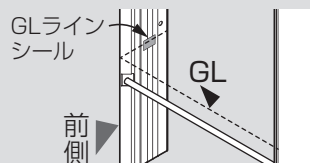
施工手順

〔寸法単位：mm〕

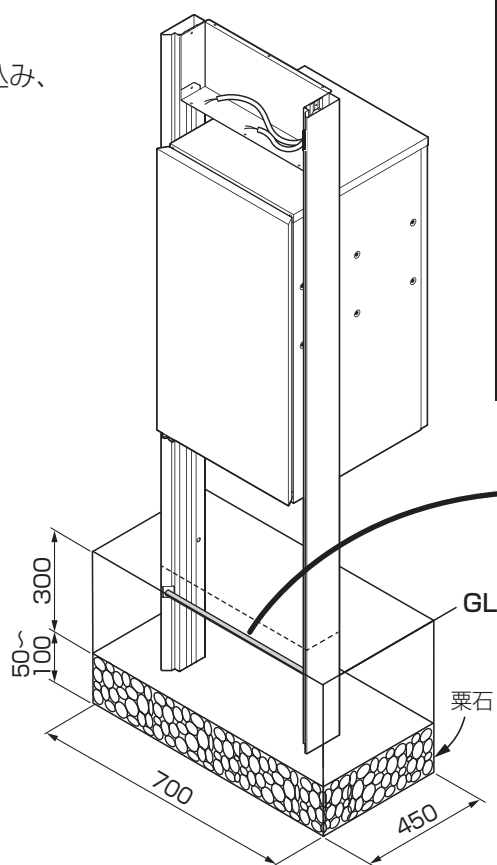
4. ポールを埋め込む

- ① 基礎穴を掘り、栗石を敷く。
- ② ポール下部の穴に根がらみを差し込み、テープで固定する。
※根がらみは現場調達してください。
(φ10 程度の鉄筋など)
- ③ 本体をGLラインまで埋め込む。

ポール内側に貼り付けている
GLラインシールより上側は
埋め込みしないでください。



- ④ コンクリートで固定する。



⚠ 注意

GLラインより深く埋め込まない
雨水の浸入により漏電、感電、
故障、腐食などの原因となります。

必ず守る
水抜き穴をコンクリートや
土砂でふさがない
●雨水の溜まりにより漏電、感電、
故障、腐食などの原因となります。
●万が一埋めた場合はGLより上に
同一形状で追加の穴を必ず
あけてください。

〈天面図〉

根がらみ(φ10 程度の鉄筋など)

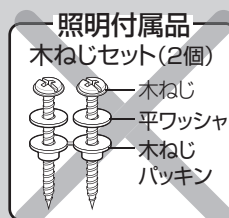
差し込み、外れ
ないようにテープで
固定してください。

■根がらみ長さ…450mm

5. 照明・カメラドアホン子機を取り付ける

■照明を取り付ける場合

注意 照明は、機能門柱本体に同梱されているねじを使って
固定してください。
照明に付属の木ねじは使用しません。
(平ワッシャ、木ねじパッキンは照明付属品を使用します。)



**機能門柱同梱の
ねじを使用**
トラス小ねじ M4×16

平ワッシャ・
木ねじパッキン
は、照明付属品
を使用

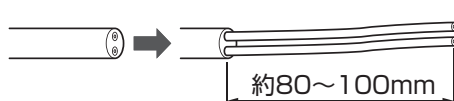
※照明器具に関しては、パナソニック株式会社 EW社ライティング事業部までお問い合わせください。
※取り付けかたの詳細は、照明の施工説明書を参照してください。

■カメラドアホン子機への配線

- ① 通信線を前パネル前面に引き出す。
- ② カメラドアホンと通信線を結線する。

通線をしやすいポイント

コードは、先端部を約80mm～
100mm程外皮を取り除いて
ポール内に配線してください。
(2芯または3芯)



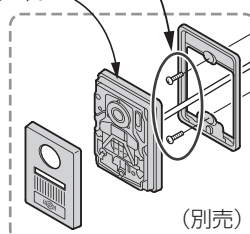
- ③ カメラドアホンを前パネルに固定する。

機能門柱同梱のねじ
トラス小ねじ(M4×16)

ドアホン

前パネル

取り付けピッチ
84



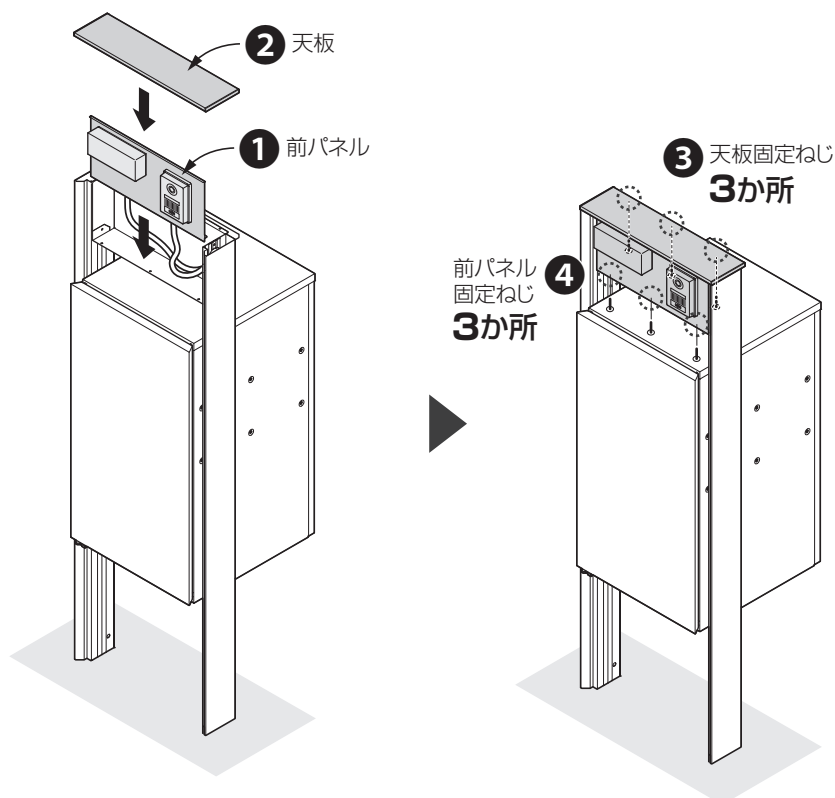
⇐ 結線はドアホン子機に
付属の施工説明書に
添って結線してください。

施工手順

〔寸法単位：mm〕

6. 天板・前パネルを戻す

- ① 前パネルを上からはめて、元の位置に戻す。
 - ② 天板を手前から後ろに押し込み、元の位置に戻す。
 - ③ 天板固定ねじ3本で固定する。
 - ④ 前パネル固定ねじ3本で固定する。
- 注意** 前パネル固定ねじは最後に取り付けてください。



7. 表札を取り付ける

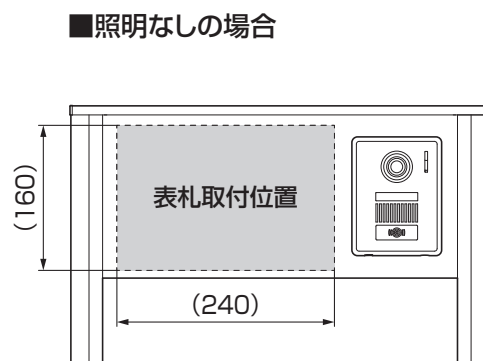
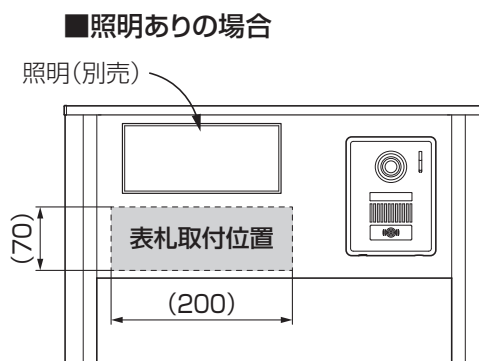
取付位置に両面テープで貼り付ける。

※照明なし・ドアホンなしの表札が必要な場合は、補修部品品番:CTP301N□02*を手配してパネル交換してください。

* □には色記号が入ります。
(CS:クールシルバー、B:ブラック)

■照明推奨品

(オフブラック : LGW46153LE1)
(シルバーメタリック : LGW46152LE1)



施工後の確認

- 各部のねじのゆるみがないか確認してください。
- 照明器具(別売)が点灯するか確認してください。
- (別売)ドアホン子機・カメラドアホン子機が正常に作動するか確認してください。
- ポスト一体型宅配ボックスの扉施錠動作に不都合がないか確認してください。
- 取扱説明書・表札チラシ・ご注文カードをお施主様にお渡しください。

お願い カメラドアホン子機については、適正な映像範囲が得られているか、実際に作動し確認してください。

商品改良のため、仕様、外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

パナソニック ハウジングソリューションズ株式会社
外廻りシステム事業部

〒571- 8686 大阪府門真市大字門真1048番地

© Panasonic Housing Solutions Co.,Ltd. 2025

214-EP225-830S
Di0825-0